

# 福居

vol. 114



- ・ 会長挨拶 ..... 2
- ・ YEG 活動報告 ..... 3
- ・ 卒業生の言葉 ..... 12
- ・ 委員長・室長コメント ..... 14
- ・ 次年度抱負 ..... 16
- ・ 新入会員紹介 ..... 18
- ・ おめでた報告/西木田通信 ..... 20



克己公

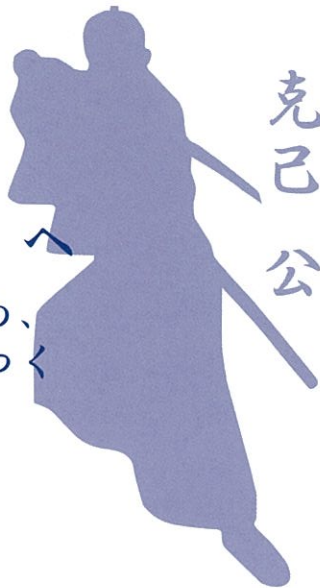
平成25年度スローガン

自己を磨き郷土の活力へ  
その一歩が自身を高め、地域の活性へと結びつく

平成25年度スローガン

自己を磨き  
郷土の活力へ

その一歩が自身を高め、  
地域の活性へと結びつく



克己  
公



福井商工会議所青年部  
平成25年度会長

山口 広征

私はよく「筋トレ」に例えますが、楽だと感じる間はあまり鍛えられてなくて辛くなってからの1つ1つが成長につながると思っています。その為、平成25年度は“武士道”をテーマに徹底した自己研鑽の年にしようと考えました。事業も例年より増やし、年8回もの資質向上ビジネス例会を開催するなど福井YEGのメンバーもいつもよりYEG活動にどっぷりと浸かった1年だったのではないのでしょうか。今年度はスローガンを「自己を磨き郷土の活力へ・～その一歩が自身を高め地域の活性へと結びつく～」とさせていただきました。

今年度、大変な思いをした福井YEGのメンバーが成長を実感し、これらが必ず自企業の発展、地域の活性へと結びつく事を確信しております。

最後に、素晴らしい仲間を支えられ楽しく大変充実した一年を過ごす事が出来ました。そして何より私自身が大いに成長させて頂きました。心から福井YEGメンバーや関係者に感謝しております。そして誇りに思います。25年度本当にありがとうございました。

# YEGの日事業を開催、被災地を訪問

平成25年11月9日(土)～10日

「とにかく現地へ来て話を聞いて欲しい！」

宮城県出身で日本商工会議所青年部の阿部会長がこの一言でこの事業を決断しました。

年間スケジュールに無かった事業を組み込むのは異例な事です。特にこの時期はキャリア教育フォーラムやブロック大会・全国会長研修会などがあり日程的にも厳しい中、十六人が集まってくれました。

一日目は地元ボランティアガイドの語り部の方に、二日目は石巻YEGの山田会長にガイドしていただきました。二年半が経過した今でさえ、まだ震災の爪痕が残り続ける地域、町そのものが消えてしまったような場所…まるで時間の流れを感じさせない感覚でした。夜には石巻YEGのメンバーや地元の方々との交流の場を設けていただき、沢山の人の話を聞くことが出来ました。



ニュースでも有名になった大川小学校。河口から4km離れており避難場所にもなっていたが7割の児童が犠牲に。

今現在も尚、行方不明の我が子を捜して、毎日海岸に訪れる人の話、大切な従業員に「屋上

に逃げろ！」と指示したものの予想以上の津波で流されてしまい自責の念で自らの命を絶ってしまった社長の話、スーパの店長はクビを覚悟で災害マニュアルを無視し、食料や衣類を提供した話など、どの話も生々しく壮絶な経験談で涙が止まりませんでした。



石巻の沿岸部は大火災が発生し本当に何もありません。

家を失った人、会社を失った人、大切な家族を失った人、親戚や友人を失った人……石巻の全ての人々が大切な何かを失っている被災者です。

震災からまだたったの二年半です。「当時を思い出したくない」「その場所へ行くのも見るのも辛い」これが皆さんの本音だと思います。

実際、ガイドをしてくれた語り部の方も石巻の会長も色々な話を



基礎から真横に倒れているビル

してくれた地元の方々も話の途中で何度も言葉を詰まらせていました。  
では何故、来て欲しいのか？  
話を聞いて欲しいのか？

石巻の瓦礫撤去が終了したのは今年の十一月上旬。他の地区ではまだ瓦礫処理のメドも立っていない所もあるそうです。そんな中、何とか前向きに生きようと場所を間借りしお店や会社を再開すべく頑張っています。しかし地元の人はお金を使えません。家や車を失った人が沢山います。「正直、観光気分であられると辛い。でも風化するよりはここへ来て、見て話を聞いて何かを感じて欲しい。そして地元のことをいっぱい買って欲しい。今はそれが一番有り難い。それしか復興の道は無い」最後に聞いたこの言葉が特に心に残っています。

どんな思いでガイドを引き受けているのか、我々も決してその想いを無駄にしないよう伝えていきます。



決して風化させてはいけない！  
我々に出来る事を一緒に考えましょう！

会長 山口 広征

まち歩き「歩くはるく」2013春版

4月6日(土)、今年度初事業となるまち歩き「歩くはるく」2013春版を開催しました。時折あいにく雨に打たれた場面もありましたが、午前中は「姫のお散歩コース」、午後の部は「殿のお散歩コース」と題して、参加者の皆さんと共に街中やお店などを巡りました。

まち歩きとは地元の人々が自分の住む町を案内し参加していただく方に楽しんで知ってもらおう企画です。その中で案内人が地元の事をさらに良く知りわが町を自信を持って紹介する「わが町自慢」ができるようになれたらと思います。2011年から福井版まち歩き「歩くはるく」として開催しております。

当日は午前中から曇り空で昼過ぎからぽつぽつと雨が降り出すというぐずつした天気の中での開催にもかかわらず前後半あわせて20名以上の方にご参加をいただきました。私は前半のまち歩き案内人をさせていただき、参加者の方達に少しでも気分を味わってもらおうと思ひ江戸時代風の格好をし約一時間半の行程を案内させていただきました。

前半は歴史的な部分と今の福井の町並み、商店を紹介しながら歩く行程となりました。順化公民館から出発し御廊下橋や江戸時代の福井の学校「明新館」跡、そして本町通りを超えてファール福井さん、ゴジラ工房さんなど町にある素敵な店舗を紹介し、途中福蕎麦さんで美味しいおろし蕎麦をいただき、ゴールであります柴田神社へ向かいました。

蕎麦を食べ終わるころに雨がぽつぽつときたのですが、柴田神社の宮司さんによるお話を聞き祈願成就の「瓶割り(かめわり)」を参加者全員がしたところで午前の部である前半のまち歩きは終了しました。

午後からの後半は雨の中での開催となりましたが、町の紹介をしながら落語を聞き、最後は養浩館にてお茶をいただき終了いたしました。

終了時にご参加いただいた皆



さんの声を聞きますと、大変楽しくご満足いただきそして新たな町の魅力、歴史を知る事ができたとの事でとても意義のある事業ができたのではないのでしょうか。

最後になりますが今回まち歩きを開催するにあたりご参加いただきました皆様、まち歩きにご協力いただいた皆様様に心より感謝申し上げます。

【記事担当：にぎわい創出委員会 天野準一】

お堀の桜船

4月14日(日)、前年度の地域つなげる委員会と今年度のにぎわい創出委員会の合同で「お堀の桜船」を開催しました。パネル展示や歴史ガイド、桜えんぴつのクイズも同時に開催し、家族連れを中心に多くの方にご参加いただきました。

順化地区の「お堀の灯り」に準備から参加してみても、これは好評を得るのではないかと確信し前年度委員会から温めていた事業です。とはいえ、一週前に桜は満開を迎えた上に満開直後から強風に見舞われ、もはや散ってしまう桜もちらほら。このままでは、「お堀の葉桜船」になってしまうとハラハラしながら当日を迎えました。



当日は、天気も良く風も少しあり寒くもなく暑くもなく絶好のコンディションでした。心配された県庁の桜もある程度散ってはいいましたが、なんとか花見といっても差支えない位には桜も残っておりホッと胸をなでおろしました。朝早い時間からの集合にもかかわらず、竹内君の指揮のもとYEGメンバーはてきぱきと設営をこなしていました。



周して戻ってきます。乗船待ちの時間や終わった後には、前回も好評だった「桜クラフト工房」の桜えんぴつ作りも体験してもらいました。

桜船午前の部の船頭さんは、先週のまち歩きでも使用した助さん・格さんのコスプレを着用した菊・坂田両副会長。大変似合っていました。桜船の運行中にもガイドをしていたいただき好評でした。午後の船頭さんは、高木直前と久野委員長。時間外に来たお客さんにも丁寧に対応してくれました。喜んでいらっしゃるお客さんともじかに対応できた船頭さんが今回一番役得だったのかもかもしれません。

午前のガイドは私と奥田君。午後からは吉村君と山形さん。直前に台本を受け取りぶっつけ本番のような歴史ガイドでしたが、そんな事は思わせないような堂々としたガイドっぷりでした。また、どのお客さんも熱心にガイドの説明を聞いてくれて、ガイド冥利に尽きました。

午前・午後とも受付は佐々木副委員長が仕切っていましたので切れ目のないお客さんに休む間もない忙しさだったのでないかと思ひます。桜クラフト工房も多くの子供たちが参加し大盛況でした。

何もかもが初めての事業なのでお客さんの数がまったく読めませんでした。いざ始めてみると開始当初からお客さんが集まりはじめ大きな混乱もなく夕方近くには予定数終了でお断りもする程の盛況でした。

お客さんの評判も上々で、「またやって欲しい」「毎月やって欲しい」などという声をいただき、準備・運営の苦労もみなさん報われたのではないのでしょうか。この「お堀の桜船」はこれからも続けていきたい事業であると思えた一日でした。

【記事担当：にぎわい創出委員会 島田茂和】



## 4月定期総会

4月17日(水)18時30分より福井商工会議所に於いて、総務・渉外委員会(玉村委員長) 担当の平成25年度4月定期総会を開催しました。

4月定期総会は平成24年度の事業報告と収支決算報告、平成25年度の「事業計画」「組織」「収支予算」を決定し、新体制となった福井YEGが新たな気持ちでスタートする重要な会議です。

初めに商工会議所青年部の歌「伸びゆく大地」を斉唱、その後伊藤洋一君の「綱領」朗読・「指針」唱和が終わり、平成25年度山口会長より挨拶が行われました。今回の司会は昨年引き続き室田君。さすが室田君、滞りなく落ち着いた司会で進行してくれました。

続いて地域振興部部長の坂下泰久様と地域事業課長の吉田裕晃様より挨拶いただきました。挨拶では我々青年部に対する期待を込めた御言葉を頂き、身の引き締まる思いでした。次に新入会員の紹介と山口会長からの青年部バッジの授与が行われました。

玉村委員長により定足数の確認が行われ総会は有効に成立。議長長の選出では山口会長より山岸副会長が指名されました。第1号議案、第2号議案、第3号議案が上程され、各担当者が議案の上程を行い慎重な審議の上、第1号議案から第3号議案は可決承認されました。

次は平成24年度高木会長の退任挨拶。挨拶では一年間の多忙な日々の中、多くの貴重な出会いがあったことを会員に語り、スローガンである「人とつながり、明日をつくる」を自ら率先して行動していく会長でした。一年間、大変お疲れ様でした。その後、会員一同より感謝を込めて花束と記念品の贈呈が行われ、平成25年度山口会長



との引き継ぎの堅い握手が行われました。総会はこれで終了しましたが、最後に平成25年度福井商工会議所青年部連合会より清水会長、細川専務理事、会計 土谷経介君がかけつけて下さり、清水会長よりご挨拶頂きました。

4月定期総会は、年度またぎの事業のため委員会を掛け持ちしながらの準備となりましたが、無事終了することができました。皆様、大変お疲れ様でした。

【記事担当：総務・渉外委員会 奥田茂】

## 4月度例会

定期総会に引き続き、総務・渉外委員会(玉村委員長) 担当の4月度例会を開催しました。

4月度例会では、各委員長がどのような思いをもって一年間活動していくのかを所信表明として発表いたしました。山口会長の思いを受けての委員長の覚悟を聞くことができました。

まずは、総務・渉外委員会の玉村訓大委員長「徹底・増強」をスローガンにかけ、各委員会のサポート、情報発信を徹底することを約束。また、会員数増強を最重要ミッションとすると宣言。AT回答率を上げ、例会担当委員会の準備が円滑にできることに注力。

続いて、資質向上委員会の森下峰雪委員長

「会員資質の向上が郷土を変える！全ての始まりは、資質向上から！」をスローガンにかけ、会員がしっかりと勉強し、今よりもっと強いリーダーに成長していくように、各方面に特化した目的別研修を行っていく。そして、自社が発展し、愛する福井の繁栄への活力になることを最重要ミッションとする。

3番目は、未来へははたけ委員会の中川知士委員長「愛を忘れない！メンバーの協力的なしでは何事も成し得ない」をスローガンにかけ、アントレ・キッズやキャリア教育フォーラムを次のステージへ羽ばたいていけるように活動していく。アントレ・キッズを福井市



内の全小学校に広め実施してもらうことを目標とする。4番目は、にぎわい創出委員会の五十嵐嘉紀委員長

「マクロの視点で、物事を考え、小さなことから実行する！」をスローガンにかけ、外部団体と協働しながら街づくりをしていきたい。まずは自分たちが汗をかいて、主体的に関わりを持ち、私たちの意見を反映していきたいと考えている。これは、青年部の全体事業として、会員全員で取り組んでいきたい。

5番目は、まち・ひと活性化委員会の久野真委員長「全員でファインプレーを」をスローガンにかけ、各青年部事業へ参加し自分を成長させることを目標とする。えきまえアントレ・キッズ事業、まち歩き事業などに積極的に参加し、役割と責任を持ち、汗して行動し、ひとつでも多くのファインプレーを起こそう。

ラストは、事業審査室の松田将裕室長「福井YEGイズムの浸透で、積極的に活発な活動を！」をスローガンにかけ、会員の事業参加率を高めていく。新入会員オリエンテーションを開催し、福井YEGを理解し誇りを持つことで、活発な事業活動と参加率向上を目指す。福井YEG大賞等を企画し事業への参加を促す。

【記事担当：総務・渉外委員会 福田智司】

## 福井県商工会議所青年部連合会代議員総会

5月18日(土)、小浜のホテルアーバンポート花椿に於いて平成25年度福井県商工会議所青年部連合会代議員総会が開催されました。

総会で平成24年度事業報告ならびに収支決算報告、平成25年度事業計画(案)ならびに収支予算(案)を全会一致で可決承認。講演では福井県立若狭高校 教諭 小坂康之氏をお招きして「地域資源を掘り起こす！へしこ博士の場合」をテーマにお話いただき、その後の懇親会では単会の枠を超えた結びつきをさらに深めました。



## 5月度例会

5月22日(水)19時から福井商工会議所ビルにて資質向上委員会(森下委員長) 担当の5月度例会を開催しました。

資質向上アカデミー第一講「こころを動かす接遇・マナー」。山本君の司会で例会が始まり、新バージョンの青年部の歌「伸びゆく大地」斉唱。今例会から新バージョンの伴奏にバージョンアップされ、いつも以上に青年部の歌が大きな声で斉唱されました。園君の落ち着いた綱領朗読、指針唱和に続き、山口会長による会長挨拶。今年



度の例会。我々は、いろんな事業も行うがイベント屋ではない。自己研鑽あつての青年経済人であり、出欠の返事はもちろん出席率にも力を入れていきますと挨拶。そして、新入会員の田中日奈子君へのバッジと手帳の授与。田中日奈子君が右も左も分からないなりに、前向きに取り組んでいきますと挨拶。

いよいよ、こころを動かす接遇・マナー研修の開始。講師の川崎葉子先生が登場されると、会場がピリツと締まった雰囲気になり、先生から投げかけられた質問にはメンバー全員が「はいっ」と返事。川崎先生が「本日はお招きいただきありがとうございます」といった台詞を、言葉だけ述べた場合と、言葉に強弱を付けた場合、さらに、表情を付けた場合、さらに、動きを付け、相手との距離を変えた場合を実演して下さり、相手がどのように感じるか、いい人間関係が結ぶのか、何で決まるのかを教えてくださいました。



る。最後にどういふ別れ方をしたか、どういふ印象を与えたかによって、相手のこころに残る印象が大きく異なると教えて下さりました。

図形を使った演習では言葉だけでは相手に正確に物事を伝える事の難しさを学び、パフォーマンス学(アイコンタクト・スマイル・行動・距離)では自分自身という素材をどう使い、どう活かすかを学びました。

初心に戻り、学んだ事で今までは悪い印象を与えなかったものが今後は良い印象を与えるものになったと思います。YEG活動を始め、ビジネスシーンにも大いに役立つ内容でした。

例会終了後には、4月にめでたく結婚された野尻竜生君へ青年部からのお祝いが渡され、幸せいっぱい表情で挨拶を行っていただきました。おめでとうございます。

【記事担当:資質向上委員会 川端勇大】

## アントレ・キッズ in 清水北小学校

6月8日(土)清水北小学校で開催されたキャリア教育授業にてアントレ・キッズを開催しました。メンバーが講師をつとめ、それぞれの仕事について体験を交えながら、仕事の楽しさや厳しさを子供達に伝えました。



## 6月度例会

6月26日(水)19時から福井商工会議所ビルにて資質向

上委員会(森下委員長) 担当の6月度例会を開催しました。

司会は村田真一君。新入会員紹介では4名が山口会長よりバッジと手帳の授与を受け、それぞれ個性的な挨拶で会場を沸かせました。

その後、例会講師の山本雄一郎先生が入場され、講演が開始されました。山本先生は青年部と同世代の36歳ながら、海外法人を含む10社の会社の経営に携わるなど、グローバルに活躍していらっしゃいます。

元々は大学卒業後に大手商社に勤務するも、自分のやりたかった事業を行うために退職し、ベトナムで日本語学校を運営して日本への技能実習生受入事業を始められたのが起業家としてのスタートです。その後、現地で日系企業の会計・法律業務をサポートする事業や、建材の輸入、CADのアウトソーシング、アクセサリーショップ、飲食店など、ベトナムを中心に様々な事業を展開され、日系企業の現地法人立上については54社も支援をされました。

かつては生産のための市場と思われてきた東南アジア諸国も近年では「消費」市場としての魅力が増しており、2012年のベトナムの小売市場は7兆5千億円規模にまで至っています。日本の中小企業としてもこのエネルギーをどのように取り込んでいくか、企業の成功例、失敗例を交えながら具体的かつ分かりやすくお話を頂きました。

特に何度も仰られており印象的だったのが「市場の徹底分析」についてでした。海外で失敗する日系企業の典型として「市場調査をろくに行わず、見切り発車をしたために事業を軌道に乗せられない」という事例の話が印象に残りました。中小企業はどうしても初期投資や労力を抑えがちですが、本当の成功を収めるためには労を惜しまず、じっくり時間をかけて経営戦略を立てることが重要だと感じました。

講演後、講師もご出席された懇親会においても、複数の会員



から「自分の商売と海外は関係ないと思っていたが、話を聞いて興味を持つようになった」との話がありました。「一度ベトナムへ行ってみたい」という会員の声も多数あり、YEG企業にとっても海外ビジネスを現実のものとして考える良いきっかけとなった例会だったのではないかと思います。

【記事担当…資質向上委員会 今井順也】

## 新入会員オリエンテーション

6月28日(金)19時から福井商工会議所ビルにて事業考査室(松田室長)担当の新入会員オリエンテーションを開催しました。

今回の新入会員オリエンテーションは、「福井YEGの歴史振り返り 温め新世代の新たな飛躍へ」というテーマの下、対象者を新入会員および役員、更には役員未経験者の3年未満の会員へと広げ、福井YEGおよびYEG全体事業について深く知っていただき、YEG活動に深く関わっていただきたいという「想い」により実施させていただきました。

キャストは4人の副会長そして事業考査室のメンバーで行い、福井YEGが過去より実施し、現在もなお事業として継続されている「春事業」「夏事業」「アントレ・キッズ事業」「まち歩き事業」について、映像を用い説明しました。

私も、もう福井YEG歴12年になりますが、恥ずかしながらこのオリエンテーションを通じ、内容の理解を深めた事業もありました。

【記事担当…事業考査室 松田将裕】



## 7月度例会 (三地区研修交流事業)

7月6日(土)、護国神社ならびにホテルフジタ福井にて県連三地区研修交流事業(7月度例会 担当…総務・渉外委員会)を開催(主管)しました。

敦賀YEG、小浜YEGのメンバーを福井にお招きし、護国神社では正式参拝・見学の後、当単会 山口会長の基本方針のベースにもある「武士道」について学ぶ講演とディスカッションを行い、場所を移した懇親会ではメンバー間の交流を深めました。

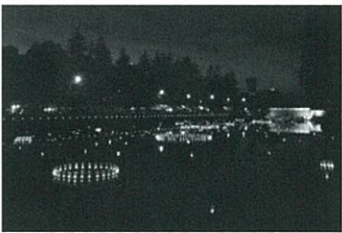
## 福井城址 お堀の灯り

7月20日(土)から21日(日)にかけて、にぎわい創出委員会(五十嵐委員長)を中心に「福井城址 お堀の灯り」に参画しました。

昨年引き続き開催しましたお堀の灯り事業も年々規模が大きくなってきており、今年は初めて各地区、各団体で作る「お堀の灯り実行委員会」を中心に企画運営をし、福井商工会議所青年部も実行委員会のメンバーとして今回運営に当たりました。

何カ月も前から準備を進めており、当日はお堀に灯籠を浮かべる作業が中心でした。福井商工会議所青年部メンバーはボート4隻に分乗し、お堀の水面で設置をしていくのですが当日はお天気にも恵まれ大変暑い一日となり、熱中症に十分注意しながらの作業となりました。

日が暮れる頃お堀の中も、そしてほかの地域、団体が担当していた福井県庁前も灯籠で埋め



尽くされ、点火をすると本当に素晴らしく美しい光景でした。

今事業は福井で過去起こった震災、戦災で亡くなられた方々の鎮魂の事業です。これからも今事業が福井に住む皆さんに過去の記憶を思い出ししてもらい、これからの福井を考える、そんなきっかけとなる事業であり続けたら大変意義深いものかと思えます。

当日参加いただきました市民の皆様、そして実行委員の皆様、関係者各位に改めましてお礼申し上げます。

【記事担当…にぎわい創出委員会 天野準一】

## 福井・吉田ブロック 特別活動研究部会

7月23日(火)中藤小学校において、福井市と吉田ブロックの特別活動研究部会に所属する先生方に当会事業である「お仕事探検隊 アントレ・キッズ」についてお話しする機会をいただきました。

趣旨説明後は実際に子供達に教える内容で溶接作業と大工道具の使い方を先生方に体験していただきました。その後行われた先生方とメンバーとのディスカッションでは、短い時間ではありましたが有意義な議論を交わすことができました。

## 第60回福井フェニックスまつり

8月3日(土)、にぎわい創出委員会(五十嵐委員長)を中心に第60回福井フェニックスまつりに参画しました。

本年度は、今後のフェニックスまつりへの参画のあり方について、新たなビジョンを示し、行動に移していくというスタンスで事業に臨みました。地域資源(地域コンテンツ)を活かしたまつりとそれに付随する賑わいの創出ということで、今後、福井の「食」「歴史」「文化」福井の魅力を発信し、体感できる場所と新たな市民参加の場所を提供していきたいと、委員会でもさまざまな議論を重ねてきました。

今回は佐佳枝廼社さんのご理解・ご協力のもと、佐

佳枝廼社をパワースポットとして設定し、福井の歴史、文化を時の流れを辿りながら体感する、という壮大なスケール感(?)で演出。恐竜をモチーフにしたパークラフト、越前和紙への絵付けやフォトプリント、朝倉氏をテーマにした戦国着付け、柴田勝家の逸話をもとにした瓶割り祈願、若狭塗り箸の箸研ぎ、昭和の遊びのレクチャー、と内容は盛りだくさん。大人も子供も楽しめる企画でした。

本格的な甲冑に身を包み戦国武者になりきって境内を練り歩く五十嵐委員長、子供たちに混じってけん玉やお手玉に興じ、自ら指南役を買ったり真剣勝負に挑む山口会長、自称和紙職人として、素人の域を超えた絵付け技術を習得した吉村副委員長、などなど、自らがまったりを楽しむこともやはり大事なことであり、随所で感じることもできるひとコマでした。各ブース間には歴史絵巻を設置し、文化を体験しながら歴史も学べるといって一石二鳥な感じになっていました。

夜の部では、境内を蠟燭入りの灯籠とLEDキャンドルでライトアップし、パワースポットの演出を行いました。参拝者の女性方に春嶽公の逸話の紹介役をかってでたらナンパだと思われたというアクシデント(笑)もありましたが、スクリーンへの歴史絵巻のストライド上映とBGM、そしてお焚き上げとの兼ね合いもあり、境内は非常に荘厳で、非日常の空間に入り込んだような、そんなムードに包まれていました。長いようであつという間の一日でしたが、改めて、まつり事業にこそYEGイズムが如実に現れる!!と感じた一日でした。まずは自らが楽しむという姿勢もさることながら、タイトなスケジュールのなかでそれぞれが責任持ってやりこくる適応力、限られた予算内で最大限のしつらえを演出する工夫、当日の設営、撤収や告知の為のビラ配りにおける人海戦術、などさまざまな業種から熱意ある人たちが集うYEGならではの



ものではないでしょうか。  
ご参加の皆さま、本当におつかれさまでした。そしてありがとうございます。  
【記事担当…にぎわい創出委員会 佐々木俊二】

## えきまえアントレ・キッズ 2013

8月24日(土)、中心市街地の店舗において、まちづくり福井(株)様との共催でえきまえアントレ・キッズ2013を開催。未来へはばたけ委員会(中川委員長)を中心に運営を行いました。

## 8月度オープン例会

8月28日(水)14時より福井商工会議所において、資質向上委員会(森下委員長)と未来へはばたけ委員会(中川委員長)が合同で担当する8月度オープン例会を「地頭力を鍛える」の著書 細谷功氏を講師にお迎えして開催しました。



例会セレモニー後、8月度オープン例会の講師、細谷功先生が入場され、セミナーが開催されました。細谷先生は東京大学工学部原子力工学科卒業後株式会社東芝にて原子力技術者として8年間従事され、その後、ビジネスコンサルティング会社アインスト&ヤング・コンサルティング(現(株)クニエ)に入社。コンサルティングフェローとして活躍されております。神奈川県出身でありながら、修学旅行は福井。最近では、毎年のように仕事で福井にいられているとの事で、大変親しみを感じました。前半は、担当委員会メンバーである園真和君司会のもとセミナー形式で地頭力の基礎(結論から考える・全体から考える・単純に考える)を学び、みなさん真剣に聞き入っております。セミナー前半、いきなり

「日本にある総電柱の数を3分で導き出しなさい」と投げかけられ、手が止まる参加者。が、地頭力を鍛える基礎を学んだ後は楽しみながら積極的にフェルミ推定問題を解いていました。



後半では、未来へはばたけ委員会担当でフェルミ推定の即実践という事でグループディスカッションが行われました。今回は一般の方に加え、大学生を交えてのディスカッション。答えにたどり着くまでのプロセスは私たち会員も大変勉強になりました。予想以上に活発な意見が飛び交い、予定では、2グループ発表の予定でしたが、全グループ(13テーブル)の発表と先生の解説をいただき、大変有意義な時間となりました。

地頭力の重要性、地頭力の鍛え方を学んだ参加者は、仕事でももちろん、私生活でも飛躍的に生産性がある、いいきっかけになった例会だったと思います。

【記事担当…資質向上委員会 竹内治】

## アントレ・キッズ in ぶくい秋の収穫祭2013

9月21日(土)22日(日)の両日、中央公園で開催された秋の収穫祭2013「ハッピー・クローバープロジェクト」のワークショップの一つとしてアントレ・キッズを実施しました。

綺麗になった!くつついた!面白い!できた!等、子供達の驚く声や笑顔溢れる2日間でした。





## 9月度例会

9月25日(水)19時より福井商工会議所において、資質向上委員会(森下委員長)が担当する9月度例会開催しました。

「経営的発想を養う力を身に付けよう!」をテーマに、南越前町の双申株式会社 嶋崎専務をお招きし、初心に返り経営ゲームに挑戦しました。嶋崎様のコーディネートの下、会員それぞれが一経営者になったつもりで「売上」「利益」「経費」の関係を知り、実際に、屋台の経営を行いました。

「人を雇い」「ものを仕入れ」「売上を計上し」「利益を出す」悪戦苦闘!しかし、楽しく、多くの学びがありました。

本例会においては、経営的発想を養う力を身に付け、経営視点で自分の役割を再確認する為に、「経営ゲーム」という、経営を体験で学ぶ実践的なツールを使い、屋台屋本舗というツールを使い、「マーケティング」「会計」「利益」という角度から「利益の仕組み」「キャッシュフロー」の体験学習をゲーム形式で行います。

企業の存在意義は利益を出す事、という視点からも、利益を生む為の仕組みを学び、経営判断の着眼点を育てていけるものでした。

【記事担当:資質向上委員会 石丸敦士】



## まち歩き「歩くがむくまち歩きの日」

9月12日(土)にまち・ひと活性化委員会(久野委員長)とにぎわい創出委員会(五十嵐委員長)により、

歩くがむく「まち歩きの日」を開催しました。秋晴れの下、総勢60名の方にまち歩きをお楽しみいただきました。

まち歩き事業は今年で4年目を迎え、地域での自主開催を目指した「まち歩き普及プロジェクト第一弾」として、中心部外の3地域での同時開催や、これまで以上に地元の方の関わりを得るなど、新たな取り組みを行いました。



「新たな発見!湊地区めぐり」ターゲットを女性に絞り込み、スイーツ店、輸入雑貨店、酒店、カイロプラクティック、料理店などを巡るコースとなりました。「地元のお店になかなか行かなかったコースでした。いざ募集開始すると真っ先に定員に達し、4kmという過去最長の距離を歩いたゴールでは地元でも評判のスペイン料理店。皆さん舌鼓を打たれ、ご満足いただいた様子でした。やはり「食」はまち歩きのキーワードですね。

足羽コース)「偉人の足跡をたどろう」

福井の歴史で満載の足羽地区。地元の方にもご意見をいただき、左内公園、坂本龍馬歌碑、橘曙覧記念文学館といった歴史を体感するコースとなりました。かつて北国街道で栄えたまちでもあり、醤油店、彫刻工房などの100〜200年と続くお店にもお立ち寄りいただきました。地元の方にフルガイドを担当いただく初の試みもあり、地元を知りつくした方ならではの詳しくそして楽しいガイドの中、参加された方も足羽の歴史を堪能されたようでした。

田原町コース)「田原町で秋を満喫!」

商店街を中心としたコースも今回初めての試みです。福井大学と田原町商店街とのコラボにより運営される「たわらや」を核として、商店街の理事長様とご縁があり、地元の方と共にコースをつくりました。福井大学「雑木林を楽しむ会」さんのガイド、そして田原町商店街の12店舗をめぐる、ゴールのたわらやでは各店の試食をお楽しみいただきました。参加された方々は田原町の活気を体感されたことと思います。ぜひピーターとして訪れていただきたいです。

皆様から「食はやはり良い。福井の食べ物を再発見で

きるのは楽しい。」「他の地区でもこのような企画でやってほしい。」「各お店での時間をもう少し長く取って欲しかった。」「この企画について知らない人が多く、参加したかったという人が何人かいた。広報の仕方を考えて。」「各商店街等でいつ行っても案内してもらえないようなまち歩きも企画してほしい」ほか多数のご意見をいただき、ぜひ今後に活かしていきます。



今回多数の地元の方に賛同をいただき、開催することができました。「まち歩き事業」をどんどん地域に提案し、YEGの目指す「地域での自主開催」に向け、普及していきたいと思えます。にぎわい創出委員会との合同事業ということで、新入会員メンバーは代々受け継がれるYEG活動の熱い想いを体感したり、会員交流も深まったのではないかと思います。引き続き例会や事業に積極参加され、更に多くの会員さんとの交流も深めていただきたいと思います。

【記事担当:まち・ひと活性化委員会 久野真】



## 第31回近畿ブロック大会 生駒大会

9月19日(土)〜20日(日)の日程で奈良県生駒市で開催された第31回近畿ブロック大会 生駒大会へ参加しました。



## 10月度例会

4月23日(水)19時より福井商工会議所において、資質向上委員会(森下委員長)が担当する10月度例会開催しました。

「先人に学ぶ人間力」というテーマのもと、人間学の基礎とも言うべき「教養」を先人に学ぶため、故事成語を題材とした研修を行いました。

まず、委員会メンバー製作の故事成語をタイトルとした寸劇の映像を3本上映しました。冒頭にそのタイトルである故事成語の説明を行った後、現代版に置き換えた寸劇を上映しました。参加メンバーの方々に、故事成語をより分かり易いようにアレンジしたつもりなのですが…。

次に、「教養テスト」と題した故事成語のテストを行いました。読み方・意味・由来に関するテストでしたが、なるべく普段使わないような出題をしたので正解率は悪かったかとは思いますが、その分知識を深めることが出来たのではないのでしょうか。

そして、テーブル毎に各メンバーさんの故事成語に関するような経験談を話し合った後、各テーブルの代表者に発表して頂きました。ここが一番不安でしたが、経験豊かな皆さんにより各テーブル盛り上がりつつあったように思いました。例会終盤では、今後の仕事に役立ちそう又は気に入った故事成語を、各自色紙に書いてもらいました。

今回の例会でとりあげさせて頂いた故事成語の一つに、「一将功なりて万骨枯る」という故事成語がありました。意味は、一人が成功をおさめる為には、その下で数多くの努力や犠牲があるということ。今回の例会を担当させて頂いたき気づいたことは、「一将功なりて万骨枯る」改め、「一事業功なりて骨



枯る」という言葉で表現できるのではないかと感じました。一つの事業が成功するのは、多くの方々の努力、協力がなくてはならない事だと気づかせていただいた例会でした。

【記事担当・資質向上委員会 小林満只】

## ふくいキャリア教育フォーラム2013

11月17日(日)県産業情報センターにおいて、当会も参画する実行委員会主催のふくいキャリア教育フォーラム2013を開催しました。



## アントレ・キッズ in 清水東小学校

11月20日(水)清水東小学校において、未来へはばたけ委員会(中川委員長)が担当する「お仕事探検隊 アントレ・キッズ」を開催しました。

## 全国会長研修会 肥後火の国みなまた塾

11月22日(金)〜23日(土)の日程で熊本県水俣市で開催された第31回全国会長研修会 肥後火の国みなまた塾に参加しました。

## 11月度例会

11月27日(水)19時より福井商工会議所において、資質向上委員会(森下委員長)が担当する11月度例会開催しました。

## 12月度例会

12月8日(日)金津創作の森において、にぎわい創出委員会(五十嵐委員長)が担当する12月度例会開催しました。

## 12月定期総会

12月18日(水)、19時から福井商工会議所ビル地下コンベンションホールにおいて総務・渉外委員会(玉村委員長)担当の平成25年度12月定期総会を開催しました。

12月定期総会は平成26年度の役員及び基本方針を決定し、新年度から福井YEGが新たな体制でスタートするための重要な総会です。

初めに商工会議所青年部の歌「伸びゆく大地」を斉唱、その後福田君の「綱領」朗読、「指針」唱和が行われ、山口会長より挨拶が行われました。司会はもちろん総務・渉外委員会の室田君。さすが室田君、滞りなく落ち着いた司会で進行してくれました。

玉村委員長により定足数の確認が行われ総会は有効に成立。議長長の選出では山口会長より山岸副会長が指名されました。今総会では第1号議案、第2号議案が上程され、第1号議案では平成26年度役員選出(案)について上松選挙管理委員長より役員32名と相談役1名の氏名が読み上げられ、原案どおり可決されました。

また、第2号議案では平成26年度基本方針(案)について平



成26年度会長予定者の菊祥行君より説明が行われ、こちらも原案どおり可決されました。

議案審議が終わり、平成26年度会長に内定した菊祥行君より挨拶が行われ、その中で「やってみせ、言ってみせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」という山本五十六の言葉を引用し、我々福井YEGの青年経済人として次代を担う者としての心構えを説かれ、会員一同身の引き締まる思いをしております。12月定期総会は無事終了し、その後、同会場にて集合写真を撮影しました。

師走の忙しい中、大勢の会員にご出席頂き、また、懇親会にも最後までお付き合い頂き誠にありがとうございました。【記事担当：奥田茂】

## 年始め祈祷会

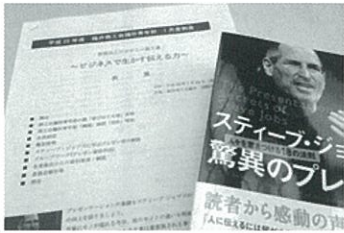
1月15日(水)、当単会拠点である福井商工会議所ビル（近く）にあり、パワースポットとしても有名な毛谷黒龍神社にて「年始め御祈祷会」を執り行いました。今年度ならびに次年度の役員で、会の一年の隆盛を祈願しました。

## 1月度例会

1月22日(水)19時より福井商工会議所において、資質向上委員会（森下委員長）が担当する1月度例会を開催しました。

新入会員紹介では、辻直樹君、平川健太君の2名が山口会長よりバッジと手帳の授与を受け、気合の入った挨拶をいただきました。

今回の例会（資質向上アカデミー第7講）では、「ビジネスで生かす伝える力」～ステイアブルプレゼンテーション術～というテーマのもと、ステイ



アブルプレゼンテーションをひも解いて行き、伝える力を身に付ける例会を行いました。

はじめに、委員会メンバー北出君により、ステイアブルプレゼンテーションがどのようなものか。何故、人々を魅了することができるのか。をPhone発売時のプレゼン動画を交え、わかりやすく、解説いただきました。基礎となる部分を学びました。

北出君のわかりやすい解説のおかげで活発な意見が飛び交い、予定より時間延長でディスカッションを行いました。その後、各委員会代表者による委員会のプレゼン資料の解説をいただき、各委員会、情熱が伝わる解説をいただきました。

最後に、資質向上委員会の完成したプレゼン発表を行いました。「仕上げと練習」を幾度と繰り返し発表に臨んだ森下委員長！人々（会員）を惹きつける最高のプレゼンテーションでした。「伝える力」を身に付けてきたメンバーは、このスキルをビジネス・社会生活に置き換え、更なる飛躍をされる事でしょう。【記事担当：竹内治】



## アントレ・キッズ in 明新小学校

1月24日(水)14時から明新小学校において、YEGメンバー10人が「お仕事探検隊アントレ・キッズ」を開催しました。



## まち歩きセミナー

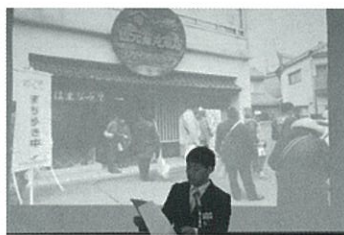
1月28日(水)19時より福井商工会議所において、まち・ひと活性化委員会（久野委員長）が担当する「まち歩きセミナー」～まち歩きは地域の宝から～を開催しました。

今回のセミナーは5年に渡りYEGが取り組むまち歩き事業を、更なる地域活性化に活用いただくこうと企画致しました。YEG（山口会長、佐々木副委員長）はもちろんの事、ふくい片町青年会様（西尾会長）、福井あすわ歴史道場様（松下会長）にもご協力を得、まち歩きに寄せる熱い思いや実際の活動についてお話いただきました。

中でも「まちづくりは人づくり」「まち歩きは特効薬ではない、続けることで漢方薬になる」「まち歩きをやって後悔していない、やってよかった事がほとんど」「何かをやってみよう。まずは歩いてみよう。」このような言葉がとて印象に残りました。

今回、26の地域団体様、行政関係様をお招きすることができました。アイスブレイクコーナーでは地域の宝をテーマに賑やかに交流され、質疑応答ではとても熱心なご質問もいただき、今後の更なるまちづくりに向け、何かを感じ取っていただけたことと思います。その後の懇親会でも、皆さんの熱い想いは絶えることはありませんでした。

今回のご縁を、まち歩きのみならず地域と協働した誇り溢れるまちづくりにつなげていかねばと、改めて実感するセミナーとなりました。YEG会員におかれましては、まちづくりに向け市民の立場で改めて考えるきっかけにしたいだければ幸いです。ご出席いただいた皆様、ふくい片町青年会様、福井あすわ歴史道場様、そして委員会の枠を超えて多大なるご協力をくださいました山口会長、佐々木副委員長、にぎわい創出委員会の皆様、本当にありがとうございました。【記事担当：まち・ひと活性化委員会久野真】



卒業生の言葉



伊藤 洋一

平成16年の夏、未曾有の被害を及ぼした福井豪雨の復興ボランティア活動で、当時会員だった方に誘われたのが、私と青年部との出会いでした。福井豪雨は私が住む木田地区で足羽川の左岸堤防が決壊し、地域に大量の泥水が流れ込み甚大な被害を及ぼしました。真夏の暑い中、被災住民のひとりとして、ひたすら汚泥と、その泥にまみれた粗大ごみと格闘していましたが、その時、被災住民以外の多くのボランティアの方々にも助けられ、人と人とのつながり「絆」や、人が人を思いやる気持ち「思いやり」を強く感じる事ができました。それまで、仕事や友人以外、あまり人との付き合いがなかった私にとって、福井豪雨は「絆」と「思いやり」の大切さを印象付けられる出来事でもあったわけですね。この「絆」と「思いやり」をより多く体現でき、自身自身の成長の糧にもなると思い、その年の秋に入会をさせて頂きました。

それから約10年、青年部での活動は「思いやり」や「絆」もさることながら、気の置けない仲間の「出会い」や、事業を通して「感動」を得ることができ、未熟者であった私にとって素晴らしい経験となりました。青年部の綱領に「次代への先導者としての責任を自覚し地域の経済的發展の支えとなる」という一文があります。私は常々「次代への先導者」とは何かを自身自身に問いかけてきました。「先導者」とは読んで字の如く、「先に導く者」です。「やってみせ、言ってみせ、聞いてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」と言ったのは山本五十六ですが、「先導者」とは常に、先頭に立ち行動し、その意義の説明責任を有し、そして巻き込んで一緒に汗をかき、感動を共有する人のことであり、若輩ながらも、青年部の仲間達に教わり、

励まされながら、そう歩んだ10年であったかとも思っています。

私は今年、青年部を卒業しますが、青年部で学んだこの「先導者」の自覚と誇りを大切にし、これからも努力していきたいと思えます。今後の青年部の発展と後輩たちの活躍を心より祈念して



岩佐 勝

私は平成14年、一緒に卒業する畑下君の紹介で福井YEGに入会しました。YEGの存在すら知らなかった私は、入会当初「イッチョライ委員会」に配属され、訳も分からず踊っていました。「こんな活動に何の意味があるのか？」と疑問に思っていた事を思い出します。様々な事業や大会、例会に参加することで色々な経験をさせていただき、たくさんの方々に出会うことができました。今はYEGの凄さやすばらしさを実感しています。もしYEGに入会していなかったら、今のスキルもモチベーションも私には無かったでしょうし、パソコンすら使いこなせていないかもしれません。

入会して12年、福井YEGの力にあまりなれなかった私ですが卒業する事になりました。感謝しています。本当にありがとうございます。福井YEGのますますのご発展とご活躍をお祈りいたします。



宇野 俊之

福井JCが主管した2003年の全国会員大会において、私が担当していた「ふくい秋の収穫祭」では当時の高原会長をはじめ蓮華先輩、水元先輩など、福井YEGのみならずは温かく支援していただき、福井のイタリアンシェフ

が腕を振った主催者ブーイングの「福伊キッチン」が大成功いたしました。そのときからご縁を感じて2009年、JC卒業後に入会させていただきました。

最初に副委員長として担当した2010年9月度例会では、福井西武の屋上が雨天で使えなくなり、急遽、国際ホールに畳を敷き詰めて、昭和レトロにこだわった赤ちようちんの灯りの中に、懐かしい食べ物などを持ち込み、とても会議所の部屋とは思えない怪しい雰囲気醸し出されて、あじさい会の方々や大いに盛り上がったことは本当に楽しい思い出となっています。また、晩年に関わったアントレキッズやキャリア教育事業は、経産省のアワード大賞を受賞したことからも明らかですが、日本一の事業です。福井YEGの宝です。

これからも日本一の事業だという自覚と誇りを失わずに、益々発展させていって欲しいと思います。5年間、ありがとうございます。卒業はいたしますが、みなさんとの交流は一生のものだと考えていますので、これからも、どうぞよろしく願っています。



北口 祐司

平成21年40歳で福井YEGに入会いたしました。当時の委員長は山口現会長で委員会は3周年事業等を担当しておりました。入会して間もなく私も分らずYEG活動に参加しましたが、委員会は人数も多く、意外と事業に関してははじめに取り組み、その後は必ず飲み会があり、スムーズに溶け込めたように思います。

YEG活動で一番印象に残っているのは、やはり1年目に担当した35周年事業にて何も分からず、当時の総務委員長のメンバーと担当した「協働」をテーマにした記念パーティの最後の催しです。参加した福井県の各単会、外部団体の代表者の方に大盃でお酒を飲み干した後で一言いただくという企画でした。リハール時にはこれで大丈夫かという意見もあったよう

すが、各代表者の方の協力もあって、テーマである「協働」のごとく会場が一体化して、鳥肌がたったのは今でも鮮明に憶えています。

卒業までの5年間は副委員長を2回させて頂きました。が、仕事の都合で土日の事業、近畿プロ、全国大会などの事業はあまり参加できず、振り返ると細く短いYEG活動だったなと思います。しかし、この5年間でいろいろな出会い、学んだ事、メンバーと汗をかいた思い出は自分にとって大切な財産になりました。

卒業するとなるとあの時もっとこうすれば良かったと思う事もあります。皆様にはそんな事がないように思いつきり最後までYEG活動を謳歌して欲しいなと思います。

最後になりましたが、今後の福井YEGの発展と皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



坪川 貞幸

平成24年入会のため僅か1年半のYEG在籍ではありましたが、大変充実した時間を過ごすことができました。あまり時間が取れなかったため多くの活動に参加が出来なかったことが心残りではありますが、YEGを通じて出会えた人とのつながりは私にとってかけがえのない大切なものです。

YEG卒業後も自己研鑽に励み、少しでも成長できればと考えています。

YEGのますますの発展と、会員皆様の今後のご活躍をお祈り申し上げます。

ありがとうございます。



橋詰 英知

皆様、大変ごぶさたしております。

私は、平成14年に入会しましたが、思えばあんなに？入会前にヨ

サコイ参加してた様な。入会後は、YEGでは色々事業を体験させて頂きました。時代行列で殺陣をしたくて忍者をだしたり、農民を演出し大暴れしたり、コミバスを使った語り部企画、そういえば、車内にポスターも貼ったなあ。アントレキッズも共同企業体にしてエンゼルランドで春江商工会と協働したり、その頃アントレマニユアルを作り出したなあ。その後、駅前でしたくなり：こっそり駅前アントレの提案。この提案で役員会も奮闘しました。私は平会員でしたがトバツチリを喰らったような：楽しい経験ばかりでした。

ここ最近の幽霊会員になりましたが、夏祭りでしたかった神輿祭りを最終年でこっそり出来たのはうれしかった。今度はギャル神輿をこっそり企画中。いろいろ思えば、YEGでは祭り男で終わったように思います。

メンバーには、大変お世話になりました。長い間おかけしましたが、本当に感謝しております。長い間ありがとうございます。



畑下 徳洋

昨年、ひじの腱鞘炎で1年ぐらい悩んでいたところ、ある病院の先生に「もう完全には直りませんが、歳を考えて下さい。」

一生痛みと付き合ってください。ズバツと言われました。いまま「老い」を考えた事が無かったが、思い起こせば、大好きなスノーボードで思い通りのラインで滑っていたのが、体がついていかなかったり、朝起きて節々が痛く、階段から降りるのに手摺りをつかっていたり、いろいろなと心当たりが頭をよぎる。



村中 洋祐

しかし、ここで老いを嘆くのではなく受け止め方しだいで楽しく生きられるかなと思う。「もう：しかできない」か「まだ：もできる」そう、まだ普通には滑ることができる。そんなことで青年部卒業には、いい歳になりました。

今後は「入会当時の髪型を惜しまず、まだ散髪ができる髪の毛がある。」精神でいきます。みなさん、どうもありがとうございます。

平成12年度、吉岡正修会長時代に入会し、YEG人生15年目で卒業を迎える事になりました。その間、多くの皆様とお会いし、事業を通し、色んな経験をさせて頂きました。

入会当初は、異業種の大きな組織を支える一員となり活動する事に漠然とした憧れのような気持ちを持っておりました。2年目に副委員長に選任され、その後、委員長、副会長と職務を拝命しました。特に平成15年度の副会長時代は全国会長研修会議を誘致、主幹単会として企画・運営の中枢に携われました。今も名譽であったと感じております。その後、平成19年に第29代会長職を拝命しました。今思えば、至らぬ会長をいかに大勢の仲間が支えて下さっていたのかと感謝の言葉に尽きます。その翌年には、県連出向理事として、日本YEGに赴き、県下7単会と日本YEGの連携推進に微力ながら尽力致しました。

我ながら輝かしい経歴のように見えますが、実際は小規模事業者の経営者が地域経済の活性化やまちづくりについて、真剣に向き合う機会を得、まさしくYEGの本懐である研鑽の場を頂いたのだと感じております。

会員それぞれの地域、業界に於ける先駆者を多く輩出し得る団体として、活力あるまちと人の牽引役となる福井YEGの活躍と発展をお祈り申し上げます。

委員長・室長コメント

総務・渉外委員会



委員長

玉村 訓 大

福井商工会議所青年部の全事業活動が円滑に行うことが出来るよう支える職務である、総務・渉外委員会の委員長を務めさせていただき有難うございました。また、皆さまへは1年間ご協力いただき御礼申し上げます。

委員長の連絡を受けてから今年度終了まで1年半が経つでしょうか。長いようで短い道のりでした。総務委員長を拝命する事で様々な経験・機会を与えていただいた山口会長に感謝申し上げます。

委員会活動では、スローガンを「徹底・増強」、活動方針は(1)会員への情報管理(2)会員拡大・増強のための活動(3)執行部・役員会時でのペーパーレス化と3つ掲げましたが、どれも自分では満足する結果を出すことが出来ず反省すべき点が多々残りました。

しかし、24年度の反省を25年度で活かすことは出来ました。25年度の反省は26年度のYEG活動にしっかりと活かし貢献していきたいと思えます。

本当に1年間ありがとうございました。



資質向上委員会



委員長

森 下 峰 雪

平成25年度は、YEGに入会してから一番どっぷり浸かった1年でした。委員長打診の連絡をいただいた時、委員長を引き受けるか断るか、思い返せばあの時に「やろう」と決断したこと、がいい判断だったと思います。

1年間を振り返ると委員長を拝命してから、自分自身も資質向上が図れたと感じています。時には委員会運営で副会長から直球のアドバイスを頂いてデッドボールを受けた事もあり、時には委員会メンバーが一生懸命に委員会活動に参加してくれる事にうれしく感じていたり、時には、担当例会が無事に終わり「今日の例会はよかったよ」というメンバーからの言葉に涙が出たりと、忙しかったけどとても充実していた1年でした。

また、学ぶ事も多かった1年です。それは、一人では何もできないということ。委員会メンバーが積極的に委員会に尽力してくれ、迷った時には沢山の知恵をいただいたお陰で1つ1つの事業を成し遂げることができました。菊副会長、委員会メンバーにこの場をかりて感謝申し上げます。ありがとうございます。

未来へはばたけ委員会



委員長

中 川 知 士

未来へはばたけ委員会の委員長を1年間務めさせていただきました中川です。

初めての委員長ということで不安だらけのスタートでした。4月例会では委員長の所信表

明を述べ、それを元に1年間突っ走って来ました。大きい事を言っておきながら、今振り返ってみると、満足できる1年ではなかったように感じます。当委員会の副会長をはじめ、委員長、委員会メンバーの方々には迷惑もお掛けしました。それでも常に自分を励ましていただいた事、感謝しています。本当にありがとうございました。

福井YEGの代表するアントレ・キッズ事業をメインとして1年間活動してきました。2か月に1回のペースで福井市の各小学校で開催し、8月には「えきまえアントレ・キッズ2013」も開催しました。この事業は本当に素晴らしいもので、子供たちに仕事の大切さ、厳しさ、やりがいを伝える事、さらに福井にはこんな素晴らしい企業がたくさんあるんだ、という事を気づかせ子供たちの夢の選択肢を広げてあげる。アントレ・キッズ事業により多く携わること、その魅力に引き込まれていきました。今後もアントレ・キッズ事業の拡大に邁進する所存です。

キャリア教育フォーラムでは各経済団体との横の繋がりが強固となり、今後同じ目標に向かって進んでいく同士として活動していけたらと思います。

このようにキャリア教育に1年間携わる委員長としていろいろな経験をさせていただきました。新たな気づきを得ることもできました。もちろん失敗談もありますが、非常に密度の高い1年だったと思います。繰り返しになりますが、未来へはばたけ委員会のメンバーのおかげで今の自分が成り立っています。常に委員会「愛」をもって接して、それに快く答えてくれたメンバーに感謝です。ありがとうございます。さらには福井YEGのメンバーの皆様にも大変感謝しています。ありがとうございます。

にぎわい創出委員会



委員長

五十嵐 嘉紀

祝！解放く福井YEG!!  
原稿(笑)

昨年の11月某日、坂田副会長(以降、坂田くん)から連絡があった。五十嵐さん、街づくりの委員長をしてくれないか? 昨年、同僚の副会長の私に:???:坂田くんも困っているんだな? がある意味、腹をくくった私は、電話じゃよくわからなくて、会って話をしようということ、2人で、約2時間程度、話をした。私自身、青年部の街づくり系の委員会に対する見方として、専門性や地域的つながりが重視のされる為、メンバーの入れ替えが少ない上、固定化されるといった見方をしていた。そんな中で、坂田くんから、面白い話がでた。1.『来年度は、山口会長の方針で、新入会員のメンバーにもまちづくり事業に関わってもらおう』2.『夏事業に関しては、従来の枠では限界がある。夏事業に主体的に関わるものを考えてほしい』1に関しては、青年経済人として、仲間づくりが大事ではあるが、レクリエーションのみを担当してきた通年の新入会員の委員会に疑問を思っていた私には、すんなり受け入れられた。2に関しては、新入会員5年目くらいにかけては私も、その系の委員会に所属していたこともあり、お祭り男の眠っていたものが、メラメラとこみ上げてくるものがあった。これは、面白い!! ネジさんもやるな(笑) ということもあり、委員長を受諾した。しかし、事業内容が結構大変なので、即戦力が欲しいこともあり、昨年まで、委員長をしていた、天野くん、佐々木くん、吉村くんを推薦してもらい、チームイガーが誕生した。これも新しい試みだ。この委員会において、私が考えていたのは、委員長は、プレイイングマネージャーであってはいけないということであった。現場のトップは副委員長、フロアーメンバーで、事業において、委員長は

その中の駒として活動する。それに徹した。そうすることにより、フロアーメンバーまで、あらゆる人とかかわれる。まちづくりの委員会で即戦力で働ける人材も育成できるからだ。

〔中略〕

何は、ともあれ、青年部事業は面白い! 私の後継は、新入会員委員会でまち歩き事業を担当した、柴田くんが受け継いでくれる! 2年目の精鋭だ! (髭が生えていて暑苦しい風貌もあるが:私は、彼を將軍様と呼んでいる。(笑)) これからも、そんなまちづくりを支えて行きたい。それが、今年、この委員会を担当させて頂いた。私の感想だ! 將軍、一平卒で、頑張らせて頂きます!

山口会長! にぎわい創出委員会のメンバー! 1年間、ありがとうございます。

まち・ひと活性化委員会



委員長

久野 真

新入会員所属委員会と  
いうことで、重責を感じつつ、不甲斐ない点多々ありました。楽しみながら委員長を務めさせていただきました。事業面ではまち歩きに特化し、にぎわい創出委員会と共にまち歩きの日では新たな取り組みを行いました。まち歩きセミナーでは全員がまち歩きセイルスマンとなり、地域の方々をお招きしました。春祭りのまち歩き・桜舟へは皆が力を合わせ企画しました。アントレ・キッズにも多数講師参加され、YEGの意義や熱い想いを感じとったことと思います。振り返ればたくさんの出会いがあった委員会でした。会員間での交流、そして多数の地域の方々との協働しました。YEG名刺を使い切るのも時間の問題でした。

私自身、喜びあり反省ありと貴重な経験をいただいた一年でした。副委員長の皆さんにはいつも力になってくださり感謝致します。そして、共に汗を流しあった新入会員の皆さん、今後益々のご活躍を願っております。

事業考査室



室長

松田 将裕

平成25年度事業考査室長を務めさせていただきます。まずはこのような大役を与えていただいた山口会長に心より感謝申し上げます。また、この室を強力に支えていただいた4名の会長経験者の方々にも心より感謝申し上げます。

今年度は自分自身が企画・運営を行うという立場ではなく、委員長を始めとする委員会の皆さんが作り上げていく事業を客観的に観察させていただくという形で仕事をさせていただきます。私も委員長の経験がありますので、委員会運営の大変さや喜びなどは十分に自覚しているつもりです。ただ客観的に見てこうした方がよいと思うこともあり。それは企画した事業が、本当に会長方針に叶ったものなのか? また、会の予算を使う以上それに見合う事業効果はどうであったのか? 委員会メンバーを十分に動機づけることは出来たのか? など。しかし基本的には平成25年山口年度はいつもの年度と同様、またそれ以上に熱く、きめの細やかな素晴らしい年度であったことは間違いありません。

来年度も菊会長のもと素晴らしい年度になることは間違いありませんが、今後一層、福井YEG会員としての自覚と誇りを持って前進して行きましょう! 1年間どうもありがとうございます。

平成26年度会長抱負



平成26年度会長  
菊 祥 行

平成26年度スローガン  
進むべき道を指し示せ！

YEGに入会して16年目、様々な委員会や事業を経験させていただき、私が思う青年部は、指針にもある「地域を支える青年経済人」として先導者たる気概で研鑽に努めよう」という言葉に尽きます。そこで今年度のスローガンを「進むべき道を指し示せ！」とさせていただきます。北の夜空に輝き旅人を導く北極星のように、メンバー一人ひとりが「何を求められ」「何ができ」「何をすべきか」を真剣に考えて取り組み、会全体としても今後の進むべき道を先導者となって指し示せるような一年にしたいと考えております。また今年度は創立40周年を迎えます。これまで支えていただいた関係各位の皆様にご感謝申し上げますと共に、諸先輩方が一年々積み上げてこられた福井YEGの歴史を受け止めます。平成26年度も地域の為、福井の商工業発展の為、青年経済人としての向上の為、メンバーと共に邁進してまいります。

平成26年度委員長抱負

※委員長は26年4月の定期総会に提出予定の議案であり、編集時(26年3月)では正式決定されたものではありません。

総務・渉外委員会



委員長 天 野 準 一

平成26年度総務・渉外委員会委員長をさせていただきに当たり求められているものは何かを考えました。

総務・渉外委員会としての決まった仕事を間違いないこなすというのはもちろんそうなのですが、会員の皆さんが会の事業に出やすい環境を作る、出たいと思える環境を作る、という事も必要ではないかと考えています。

今年度は福井YEGの内力を底上げできるような活動を水面下で進める、いかなれば忍者のような組織にしていきたいと考えています。委員会メンバー一同アクティブにまい進する所存であります。

交流委員会



委員長 山 田 祐 司

交流委員会は常に積極的に各委員会メンバー・あじさい会・県内YEGなどとの交流を中心に次々年度に向けた会員育成を行っていききたいと思っています。副委員長は

委員長に、委員会メンバーは副委員長になることを目標に活動していきます。

入会してきた人は当初何を想い、YEGに何を求めたのかはひとそれぞれだと思いますが、新たな人との出会い(交流の場)を求めない人はいないと思います。近年は事業も多く、対内での活動ばかり目立ってきています。対外になると参加数はほんの数人になってしまいました。対外でこそ求める交流の場はあるのではと思います。

本年度当委員会は40周年を担当するということで不安事も多いですが、そこでの体験が人(福井YEGメンバー)との深まりを大きくしてくれると思っています。今のこの時に人との絆を作ることが今後の企業発展、YEG活動で大きな力になってくれると信じています。人づくりは未来づくり5年後、10年後には今後の新入会員で役員ができていることを願っています。

ビジネス向上委員会



委員長 今 井 順 也

今般、3度目の委員長を仰せつかり、あらためてその責任の重さとYEG会員にとつてのビジネスの発展、資質の向上とは何かを深く考えています。特に昨年からはビジネス系の委員会を中心に例会を担当するようになり、今年も計5回もの例会を担当することになり、単発での企画ではなく、年度を通しての構想がないと例会企画がまともにならないようになってき



ています。今年度の構想はまだはつきりとしたものはありませんが、会員の資質と能力の向上に繋がる例会、および会員企業のビジネス発展に繋がる例会の2つの柱を軸にし、参加した会員が直接的に自社のビジネスに役立ったと思えるような例会を企画していくことを目標とします。例会企画を経て、委員メンバーの資質向上も図りつつ、盛り上げられる委員会にしたいと考えています。

キャリア・サミット委員会

委員長 中川知士



平成26年度「キャリア・サミット委員会」の委員長を務めさせて頂きます中川知士です。1年間どうぞ宜しくお願い致します。

昨年1年間、福井YEGが誇れるアントレ・キッズ事業をはじめキャリア教育に携わってきました。いろいろな経験をさせて頂いた実りある1年間を生かし、今年度は更に発展できるように活動していきます。

我々経済団体が行うキャリア教育の一つの方法としてアントレ・キッズ事業があります。この事業は本当に素晴らしいもので、福井YEGとしてもそうですが、個人の想いとしても、もっともっといろいろな地域でアントレ・キッズを行い拡大していけたらと思います。誇り溢れる福井の地で生まれ育った子供たちに対し、誇り溢れる地域を支える青年経済人の我々が気づきを与え、行動させる義務があるのではないで

しょうか。一企業人として子供たちと接する必要性があり、さらには一人の大人として子供たちに夢を与えるような先導者になっていく必要があるのだと考えます。より一層アントレ・キッズ事業の拡大に力を注いでいきます。

過去に3回のキャリア教育フォーラムが開催されました。3回目のフォーラムで他団体との横の繋がりが更に強化されました。これは非常に重要なことで、他団体との協力がなければ福井の子供たちに対するキャリア教育は発展していかないと思います。今年も他団体との協力を得ながらキャリア教育の発展に寄与できればと考えています。

今年度当委員会のスローガンは「ラブ・パッション」ということで「愛」と「情熱」を持ち続け、与え続けていきたいと考えています。

最後になりますが、YEGメンバー一人ひとりの協力がなければ成し得る事のできない事業です。何卒ご協力の程宜しくお願い致します。

誇り溢れる地域(まち)づくり委員会

委員長 柴田光義



平成26年度「誇り溢れる地域(まち)づくり委員会」の委員長を務めさせていただきます。柴田光義です。どうぞ、よろしくお願致します。

私は、まち系委員会に属する事が初めてであり、今まで(過去2年間)しか知らないですが(笑)どのような流れで事業を作り上げてきた

のか、どのような外部の方達との折衝を繰り返し事業を作り上げてきたのか。色々分からない事は多々ありますが、まずは、委員会メンバー全員でYEGを楽しみ、委員会を楽しみ、まちづくりを楽しみ、そして様々な人との出会いを楽しんで行きたいと考えています。

我が委員会にも、春まつり、夏まつり、まち歩き、地域との連携等、諸先輩方が築き上げて事業や絆が沢山あります。勿論現状で満足する訳ではなく、意見を出し合い、YEGとしての役割は何か?など、ひとつひとつの事業への思いを大切に、常に「プラス1」の気持ちを持ち、事業に取り組んで行きたいと思っております。不慣れでご迷惑をおかけする事もあるかとは思いますが、一年間宜しくお願い致します。



# 新入会員紹介



玩具問屋大村商店

大村 亮輔

私共は、イベントや販促等で使う、低単価の玩具・特価商品・花火・駄菓子・風船・イベント用品等の卸売り業を営んでおります。商品の選定はもちろん、ゲームの運営方法等のアドバイスも行っております。YEG活動を通じ、地域社会に貢献できる様、頑張りたいと思います。ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願致します。



小前田法律事務所

小前田 宙

交通事故事件を中心に、中小企業の企業法務、債務整理、離婚、相続事件などを行っております。依頼者に「小前田法律事務所に来てよかった」、「何かあったらまた相談したい」と言われることを目指しています。



株式会社永和システムマネジメント

小山 嘉雄

今年設立35年を迎え、日本全国の金融機関や医療機関、自動車業界やインターネット業界に高品質の情報システムを提供し続けてきました。その中で地元福井の皆様のお役に立てる新たな事業として、業界にこだわらずオフィスやモバイルシーンでの生産性向上を支援する、クラウドサービス「GoogleApps」の正規代理店となり、県内企業の皆様への販売・導入支援を行っております。きめ細かいサービスにより、事業活性化や業務効率化のお手伝いをさせて頂きます。



株式会社サンテン・コーポレーション

坂口 雄介

もっと人のそばへ...をキーワードに、店舗・商業施設を専門とした企画・立地開発及び設計・施工を、北陸3県を中心に展開致しております。福井YEG活動を通じて、福井の新たな魅力ある街づくりに積極的に参加し、商業の観点から福井の街の発展に貢献できるように頑張っております。



清水法律事務所

清水 孝行

福井市内で弁護士業をしております。一般民事事件から刑事事件まで幅広く取り扱っておりますが、主に相続問題、交通事故、会社の労働問題や紛争予防業務を多くこなしております。法律問題はその背景に感情的な問題を含んでいるケースが多く、早めに相談することで気分的にも落ち着き、良い結果となる場合があります。委任頂いた事件については丁寧かつスピーディーに事件処理に当たり、「依頼者にとって最善の解決」を目指します。



有限会社詩季 (FlowNexus)

佐藤 宏隆

使い方が分からない、動かないといった使い方に関するトラブルから導入、利活用のお手伝いまでITに関するお困りごとにワンストップで対応します。インターネットに代表される情報技術は仕事にも生活にも欠かせない存在です。しかし何か困ったことがあっても近くに相談できる人がおらず、パソコンやスマホの前で悲嘆に暮れている方も多いのではないのでしょうか。そんな顔を一つでも多く笑顔に変えられるよう、コツコツがんばっております。



ヒヨコデザイン

田中 日奈子

グラフィックを主としたデザインのお仕事をしています。モノをカタチにする原動力は、結局ヒトとの繋がりと考えています。YEGでの活動を通して、自分出来ることを上手に見つけたり増やしたりして、ヒトとの繋がりを面白くして愉快なモノに出来る、人間力を鍛えたいと思います。どうぞよろしくお願致します。



株式会社キャンピオ辻方

辻 直樹

創業以来185年地元福井と共に歩んでまいりました。弊社は現在、キャンバス、レンタル、インテリア、ユニフォームの4事業を展開しております。テント生地を使用した商品、イベントのテントや机、椅子他のレンタル、クロスやカーテン、カーペットなどの室内装飾、作業着や作業靴、合羽など、広く様々に取り扱っております。YEGの活動を通じ、福井の発展に貢献したいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願致します。



ミリオンの協同組合

土肥 宣隆

中国、ベトナムから技能実習生の受入・教育・管理を行っております。世の中のグローバル化に伴い、外国人とのコミュニケーションを身近に感じられる環境作りに日々努力しております。YEGの活動を通して、自分の住む地域をもっと深く知りたいと思えます。

# 新入会員紹介



株式会社ビジュアラルライン

西口 雅基

当社は、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などの広告制作やイベントの企画運営、ウェブ制作・運営・管理など、幅広い分野でセールスプロモーションを手掛けている広告代理店です。お客様の目的にあった広告戦略を組み上げ、お客様の目標に近づけるよう、心を込めてお手伝いをさせていただきます。



野波公認会計士事務所

野波 俊光

福井市問屋町で会計事務所を営んでおり、今年で9年目になります。ワンランク上の税務・会計サービスをご提供することにより、クライアント様の「企業の永続」「ビジネスの成功」そして「夢の実現」を応援し続けています。YEGではメンバーの諸先輩方と共に様々な活動を経験したく、地域社会の活性化に少しでも関わられるよう一生懸命頑張ります。



ホクコンマテリアル株式会社

橋本 武志



株式会社フォーカルトラスト

東田 睦

フォーカルトラストのスタッフは現在、総勢150人。医療機関に特化した人材派遣の会社です。医療事務の有資格者をはじめ、すべて医療機関のホスピタリティ教育を受けたスタッフばかりです。収益の拡大につながる、精度の高い請求業務を行なうスタッフをはじめ、患者さんの立場に立ったホスピタリティマインドにあふれたスタッフをご提供しています。



zebraPLUS

平川 健太

自動車運転代行業を行っております。HIGH QUALITY SERVICE を掲げる当社では、ドアサービス、制限速度厳守、清潔な服装、気持ち良い挨拶等を徹底しお客様満足度100点を目指しております。YEGの活動を通じて、人間的成長が図れたらと思入会させて頂きました。若輩者ではございますが、宜しくお願い致します。



株式会社モリシタ

森井 宏幸

日常は、農業資材の販売、パイプを加工して建てるビニールハウスや鉄骨で組み立てる温室の設計・施工・修理をしております。パイプは自社加工ですので、お客様のご要望に対応出来るよう工夫します。入会するまでは催し事の参加者でしたが、主催する方も楽しいと感じました。少しずつですが、活動数を増やして沢山の人と出会いたいと思います。



株式会社福井新聞PRセンター

吉田 純也

総合広告代理業の当社は、新聞・テレビ・ラジオ・雑誌等のマス媒体広告の取扱いをはじめ、広告デザイン、コマース制作のCF企画、各種印刷物、イベントの企画・設営・運営、販売促進企画、ロゴ・企業理念・スローガン制作等のCI企画、大型映像ボード広告事業、各種屋外媒体、ホームページ制作等のデジタルコンテンツ企画等、県内外を問わず幅広い業務を行っております。YEGの一員として、地域に役立つ活動に取り組みます。



安田会計事務所

安田 圭介

安田会計事務所では、税理士としての業務である税務相談の他、経営・会計・財務・節税など、お客様のあらゆるニーズに対して、最適な解決方法をご提供できるような心がけております。また、お客様と税理士という立場ではなく、企業パートナーとして、共に成長していける関係を築いていける会計事務所でありたいと考えております。税理士業務におけるご相談はお任せ下さい。



Congratulation!

おめでた



いまい りょうと  
**今井 亮登**くん

今井 順也 パパ

平成25年10月12日生  
長男

パパとママのいうことを  
聞いてよい子に育つよ！



よしむら かな  
**吉村 柑七**ちゃん

吉村 哲一 パパ

平成25年7月29日生  
三女

三女で～す☆  
お風呂大好き♡

西木田通信

福井商工会議所に入社して二年目の年に青年部事務局を担当させて頂いたことは、私にとっても貴重な経験で、自分に足りない所と向き合う日々でした。その中で今後意識していかなければいけないと感じたことは、「一つのことをやり切る」と、「様々なことに関心をもつこと」です。会議や例会、様々な事業の開催など、活動の盛んな青年部のペースに身を投じる中で、仕事の大小に関わらず自分のやるべきことをやり切ることを、事務局として何をすべきかということが、常にいろいろな場面で考えることができました。本当の意味で自分に身に着くように、これからも忘れずに意識していかなければいけないと思います。

また、活動の幅が広い青年部活動を通じて、常にいろいろな分野にアンテナを張ることの大切さも感じました。アントレ・キッズやまち歩き、夏祭りへの参画、工夫が凝らされた例会など、様々な事業に取り組まれる皆さんの姿勢やアイデアを間近で見ることが出来たことは、自分自身がこの先様々な仕事に取り組んでいく上でも、多くのヒントを頂いたと思います。

そして、この一年間を通じて何よりすごいと思ったことは、青年部の皆さんの意識の高さとエネルギーです。普段の仕事に加えて、委員会活動や事業の運営に昼夜を問わず動かれている姿を見て、忙しさというのは仕事の量や時間ではなく、意識や気持ち次第で何とかなるものなのだと感じさせられました。

この一年間学ばせて頂いたことをこれからも活かしていけるように、頑張っていこうと思います。一年間、本当にありがとうございました。

(平成25年度 事務局 荒木 幸治)